

れいわ新選組 わかさともひろの 柏市議会の舞台裏



令和7年12月 市議会レポート VOL.10

今議会では、私が約2年半にわたり取り組んできた活動を振り返り、その中で柏市が抱える課題のうち、**未だ解決に至っていないもの**を改めて議会で取り上げました。市民の皆さんから「説明が足りない」「納得できない」という意見が寄せられ、議会で問い合わせてきましたが、改善に向けた動きは見えていません。市は「予算がない」「仕組みが難しい」といった説明が先に示される事が多く、市民が日々困っているという前提に十分に立っていないのではないかと危惧しています。生活に直結する重要な課題として、**市が本気で解決する意思があるかどうか**は、現地を確認し、必要な予算をしっかりと充てていく行動にこそ表れると、私は考えます。

わかさ一般質問 0:00 ~
1 問 1 答の質疑 32:41 ~



今回の一般質問の動画はコチラ↑

未解決!! 柏市が抱える問題の本質に迫る

その1.『丁寧に進める』とは何だったのか — 柏中学校区義務教育学校の現在地

柏第一小学校と旭東小学校を廃校にして、柏中学校に1年生～9年生の義務教育学校を設置する計画です。私はこの計画には**反対の立場です**。今議会で言及した事は、一昨年9月議会で採択された市民からの請願第20号「柏中学校区の小中一貫教育の推進について丁寧な進め方を求める請願書」と深く関係します。請願の主旨は、計画のメリット・デメリットの丁寧な説明、3校統合以外の選択肢の検討状況を地域住民や保護者へ**丁寧な説明を求める内容**です。地域住民176名の署名を伴い、議員も全員が賛成し、**丁寧な進め方を市に強く求めました**。しかしその後の市の姿勢は変わりません。この問題は昨年6月議会でも取上げました。その際の教育委員会の答弁では、要望があれば開催する出前型意見交換会や、地域協議会が主催する意見交換会、令和7年度の新1年生の就学時健康診断においての相談ブース設置などを実施している、と示されました。が、いずれも受け身の対応にとどまっています。

今こそ、市主催の住民説明会を！

市はこれまでの対応を「丁寧な取り組みが増えている」と説明しましたが、私からは、**義務教育学校がなぜ必要なのか**、柏第一小の老朽化など根本的な事情が地域住民や保護者に十分伝わっているのかを問い合わせました。また、出前型意見交換会や地域協議会主催の意見交換会は 7 回で、参加数は延べ 73 人に留まりました。1 回あたり 10 人前後の**参加数は極めて少ない**です。市も「想定より少なかった」と認めています。にもかかわらず、状況を見守る姿勢に留まっています。開発事業等構想公開板が設置された今こそ、**市主催の住民説明会**を近隣センターで行うべきだと指摘しました。

開元寺未守情忘ム開版

その2. 市営住宅——制度が現実に追いついていない



①共益費と家賃は、市が一体で管理すべき

これまで繰り返し、市が共益費と家賃と一緒に徴収する仕組みを導入してほしいと訴えてきました。入居者の高齢化や空き室の増加により、入居者による共益費管理は限界にきております。徴収を巡るトラブルも生じており、仕組み自体の見直しが必要です。他自治体の事例を調査し、**市が家賃と共に共益費を併せて徴収・管理する仕組みへの転換**を求めました。

②収入超過者認定通知は「遅すぎる」

市営住宅では年1回の収入申告により家賃が決まりますが、収入超過者認定通知が例年2月に届くため、住み替えの検討期間が極めて短くなっています。**入居者の選択の自由**を守るため、通知時期の前倒しを求めました。

③空室なのに家賃が発生する矛盾

市営住宅では退去後の補修期間中も家賃が発生しています。既に転居し空室であるにもかかわらず家賃負担が生じる現状を問題視し、補修期間の家賃免除や検査方法の見直しを求めました。

「住まいのしおり」だけでは不十分

②③の制度は「住まいのしおり」に記載されていますが、十分に理解されていないと感じ、**急ぎよ入居者**に直接説明したうえで聞き取りを行いました。本会議終了後の夕方に市営住宅5つの団地を訪問し、**35人から署名付きアンケート**をいただきました。その結果、収入超過者通知は29人が改善を要望し、補修期間の家賃については全員が免除を求めました。制度そのものより、仕組みが分かりにくく、突然通知が届くことへの不安が大きい実態が明らかになりました。

その3. 594万円をかけても、なぜ公園トイレは汚いのか

公園トイレについても、清掃が行き届いていない点を繰り返し指摘してきました。市民アンケートで最も多かった「清潔なトイレを望む声」を受け、市は**594万円をかけて外部委託**による公園トイレの健全度・快適度調査を実施しました。私も改めて現地で便器の臭いを一つひとつ嗅ぎ、汚れも確認しましたが、市の評価結果と実態はかけ離っていました。臭いや汚れ、水漏れ、危険なトイレボールの再設置など、過去に指摘した問題も改善されていません。**職員の立ち会いもないまま**行われた高額な調査が、現場改善につながっていない点は大きな問題であり、調査に594万円使うよりもまずは日常的な点検と清掃体制の強化が必要だと指摘しました。



人体に悪影響のトイレボール



2年前にも指摘した水漏れ



新しい便器でも悪臭が



外から丸見えの男性用小便器



「歩く困りごとの窓口」としてお気軽にご相談ください！

柏市議会議員 わかさ ともひろ

会派：市民サイド

委員会：教育子供委員会、広報委員会



お問い合わせ & 若狭朋広を知る

プロフィール

わかさともひろ (52歳)
中1・小5の娘と暮らす
シングルファザー

1973年秋田県生まれ。柏市花野井在住。

税務署、財務省(旧大蔵省)、劇団主宰、俳優業、広告代理店の営業マン、森の幼稚園事業、ハウスクリーニング、電気工事(ひとり親方)など、経験した職業は19種類。命や人の優しさ、表現することを大切にしています。

090-1421-9790

わかさともひろ事務所 柏市花野井720-177

✉ wakasatomohiro50@gmail.com

「柏市のタケコブターズ」メンバー募集集中です！

